

2022年度 環境医学研究所 共催：順天堂大学大学院医学研究科

第17回 若手研究発表会



日時：2023年1月20日（金）17:00～20:00

会場：順天堂大学医学部附属浦安病院2号館8F
環境医学研究所カンファレンスルーム

Zoom配信併用

司会：富永 光俊（環境医学研究所 先任准教授）

挨拶：海老原 伸行（環境医学研究所 副所長）

座長：中山 仁志（環境医学研究所 助教）

早川 国宏（膠原病内科グループ・特任助教）

「誘導SLEマウスモデルにおける自己抗体産生に寄与する要因の解析」

古宮（須山） 栄利子（高森グループ・特任助教）

「I型糖尿病モデルマウスを用いたかゆみ過敏メカニズムの解明」

本田 耕太郎（高森グループ・非常勤助教）

「搔破行動の繰り返しに関する法則の解明」

趙 巧鳳（高森グループ・博士研究員）

「Effects of psychological stressors on the pathogenesis of atopic dermatitis」

飛田 知央（高森グループ・博士研究員）

「ゲノム編集技術を用いた表皮肥厚とかゆみの関係性の解析」

加藤 壘（高森グループ・博士課程4年生）

「ケトコナゾールの外用はソラフェニブによる手足症候群を改善する」

座長：鎌田 弥生（環境医学研究所 准教授）

花房 慶（岩淵グループ・博士研究員）

「ヒトマクロファージの抗酸菌殺菌機構における極長鎖脂肪酸鎖を有するスフィンゴ脂質の役割について」

島井 亮輔（岩淵グループ・循環器内科学・博士課程4年生）

「リゾホスファチジルグルコシド/GPR55受容体シグナル軸はヒトマクロファージにおける脂質代謝を制御する」

岡野（横山） 美樹子（海老原グループ・眼科学・研究支援者）

「慢性アレルギー性結膜炎におけるCGRP誘発性のかゆみに関する検討」

河村 麻佑（高森グループ・博士課程4年生）

「掻痒性皮膚疾患における血漿オピオイドおよび血清リポカリン-2濃度の評価」

岸 龍馬（高森グループ・博士課程4年生）

「アトピー性皮膚炎におけるデュピルマブの瘙痒関連事象への影響」

藤井 寛紀（生化学第一・博士課程3年生・RA）

「BLT2受容体のTRPV1に対する機能解析」

講評：高森 建二（環境医学研究所 所長）

* 1月19(木) 正午までにお申込みください
参加申込：kanken@juntendo.ac.jp
当日までに招待URLのご案内メールをお送り
します。詳しくは環境研HPをご覧ください。

